

事務事業評価の評価結果について（平成28年度の事業に対する評価）

ボートレース事業部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
経営管理課	一般管理事業	モーターボート競走事業の経営の安定化を目指すため当該事業の総括及び調整を行う事業で、関係団体への分担金等や、各種の取り組みに共通して必要となる経費又は複数の取組に係る経費を総括し支出するものです。	経営の安定化	前年度の指標は、当該事業における各種負担金のみを捉えたものである。当該事業には、需用費や役員費のほか、旅費や交際費が含まれているが、これらは営業活動量に比例するものであり、必ずしも経費節減を理想とするものではない。したがって、当事業を評価する指標として適切なものの設定は困難であり、事業全体における効率的な運営を図るものです。			効率的な運営を図っていきます。	全国モーターボート競走施行者協議会を通じて、各種制度のあり方等について関係機関、関係団体と協議を継続するとともに、各種経費の削減に取り組みました。	4	モーターボート競走事業の経営の安定化を目指すため、モーターボート競走事業にかかる総括及び調整を行いました。	現状維持	引き続き、経営の安定化を目指すとともに、関係機関・関係団体への協力を継続して要請していきます。
経営管理課	一般開催事業	津市主催のモーターボート競走を開催し、津市モーターボート競走場における発売・払戻等や電話投票による発売・払戻等を行うほか、選手賞金や法定交納付金など開催に係る必要経費の支払を行います。	売上収入額	一般開催事業は、自場競走開催に係る経費であり、その成果は、自場開催に係る売上収入に求められます。なお、目標値は、当初予算額とします。（本場売上＋電話投票売上＋場外委託売上＋場外発売場売上）	30,574,600千円	30,284,965千円	交納付金の負担割合の減額に向けた関係機関との協議に努めます。	プレミアムG I第30回レディースチャンピオンの総売上額は約58億円。その他、特に電話投票・場外委託での売上確保に努めました。	4	自場開催レースの売上は約303億円で、前年度比較で19.2%増となり、その内訳は本場での売上が15.5%減、電話投票による売上が37%増、場外委託による売上が20.9%増、場外発売場による売上が48.8%増となった。本場での売上は減少したものの、電話投票や委託による売上が増加したことにより、収益を確保することができた。	現状維持	グレードレースの開催が収益向上に寄与する部分は大きく、また、売上向上のために効果的な開催日程の設定は自場レース開催の重要な要素であり、効果的な競走運営に努めていきます。
経営管理課	場外発売委託事業	他のボートレース場及びボートピア（場外発売場）等に自場で開催するレースの発売を委託し、売上向上に努めます。	場外委託売上額	場外発売委託事業は、自場で開催するレースについて場外発売場等に発売を委託する経費であり、その成果は、当該場外発売場等における売上収入に求められます。なお、目標値は、各年度の開催日数やグレードを踏まえた当該年度予算額とします。	14,989,600千円	13,293,534千円	開催日程、番組、広報宣伝、ファンサービス、場外発売場への営業活動が総合的に売上向上に影響するため、各部門において売上向上に努めます。	委託売上については、他場の協力のもと前年度の数値を大きく上回ることができましたが、目標値には届きませんでした。目標値を過大に設定したためです。	4	平成28年度の自場開催レースの委託による売上は約133億円で、前年度比較で20.9%の増となった。また、委託発売について、プレミアムG I第30回レディースチャンピオン及びG I第62回東海地区選を開催したことや、他のボートレース場及びボートピア（場外発売場）等へ販売促進活動を行った結果、延委託日数が4,392日と前年度比較で約1,180日の増となり、収益を確保することができた。	現状維持	G Iレースの他に企画レース等を行うことにより、他のボートレース場及びボートピア（場外発売場）等へ販売促進活動を行い、収益を確保することができました。
経営管理課	場外発売場事業	場外発売場は、近くに競走場のない地域や競走場まで足を運ぶ時間的余裕のない顧客にとって便利で気軽に楽しめるだけでなく、これまで疎遠となっていた潜在的な顧客にモーターボートの魅力をアピールできるなど、新たな顧客の開拓につながる有効な手段であり、全国的にも整備が進められている事業です。	場外発売場売上額（自場開催分）	場外発売場事業は、自場で開催するレースについて場外発売場での発売に係る経費であり、その成果は当該場外発売場における売上収入に求められます。なお、目標値は場外発売場（自場開催分）での売上の予算額とします。	350,400千円	280,571千円		平成29年度公営企業会計導入にともない3月打切決算を実施したことによる減及び目標値を過大に設定したことが主な理由です。	4	場外発売場「ミニボートピア名張」で自場開催レースを176日間発売したことにより、2億5千万円以上の売上となり収益を向上させることができました。また、平成29年3月24日に「ボートレースチケットショップ養老」を開設した。	拡充・充実	売上増加と安定的な収益確保の観点から、当該事業の目的を踏まえつつ、引き続き場外発売場の設置を検討し推進していく。

ボートレース事業部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
経営管理課	場外発売等受託事業	様々な競走を楽しみたいという顧客の要望にこたえるため、グレード競走についてはスタンド棟を開場して場間場外発売を実施するほか、外向発売所においては一日最大6場発売から7場発売へ拡充するとともに、年間359日の発売を行うことで、多様なニーズに合わせた幅広い顧客の獲得につなげます。	売上実収入額（受託金収入＋収益金収入）	当事業を評価する指標として、勝舟投票券発売の売上実収入額とする。なお、目標値は、当該年度予算額とします。	1,378,351千円	1,295,150千円	自場でのレース開催に合わせてスタンド棟で他場での受託分レースを発売するなど、売上の向上に努めます。	自場レース開催日に合わせてスタンド棟で他場の競走を発売するなど受託売上の向上に努めました。平成29年度公営企業会計導入にともない3月打切決算を実施したことによる減が主な理由です。	4	スタンド棟については、入場者数及び発売日数が減少したことにより他場受託分の売上も減少となったが、自場でのレース開催日以外の発売を取りやめるなど運営経費の削減に努めた。また、外向発売所「津インクル」については、1日最大6場発売から7場発売に拡充し、売上向上に努めた。	現状維持	スタンド棟での入場者数と発売日数の減少により他場受託分の売上が減少したが、その傾向は今後も継続していくものと考えられ、収益性向上のために運営経費の削減も考慮していく必要がある。
経営管理課	場外発売場事業（受託）	場外発売場は、近くに競走場のない地域や競走場まで足を運ぶ時間的余裕のない顧客にとって便利で気軽に楽しめるだけでなく、これまで疎遠となっていた潜在的な顧客にモーターボートの魅力をアピールでき、新たな顧客の開拓につながる有効な手段であり、全国的にも施設が増加している事業です。	場外発売場売上収入（他場受託分）	場外発売場事業（受託）は、場外発売場において他場で開催するレースを受託発売する経費であり、その成果は当該場外発売場における売上収入（他場受託分）に求められます。なお目標値は、場外発売場（他場受託分）の売上の予算額とします。	2,349,600千円	2,052,780千円		平成29年度公営企業会計導入にともない3月打切決算を実施したことによる減が主な理由です。	4	場外発売場「ミニボートピア名張」により、他場開催レースを330日受託発売したことにより20億5千万円の売上となり収益を向上させることができた。また、平成29年3月24日に「ボートレースチケットショップ 養老」を開設した。	拡充・充実	売上増加と安定的な収益確保の観点から、当該事業の目的を踏まえつつ、引き続き場外発売場の設置を検討し推進していく。
経営管理課	繰出金	市財政に寄与することを目的に、モーターボート競走事業の収益確保、基盤強化を図り、一般会計への繰出を行おうとするものです。	繰出の継続	平成15年度の一般会計への繰出を最後に、これまで繰出を行うことができなかったことから、経営基盤の強化等を図り、一般会計への繰出を継続します。	100,000千円	100,000千円	一般会計への繰出を継続します。	外向発売所や場外発売場の設置、旧西駐車場の貸付など、経営基盤の強化を図り、一般会計への繰出を行うことができました。	4	外向発売所や場外発売場の設置、旧西駐車場の貸付など、経営基盤の強化を図り、平成28年度に一般会計への繰出を行うことができました。	現状維持	老朽化が進む施設・設備の計画的な整備・修繕が必要であることに加え、緊急的な対応、施設の建設改良のための基金の積立の継続も必要であることから、事業経営の安定化を見据えつつ、一般会計への繰出を継続していきます。
事業推進課	従業員関係事業	投票業務を担当する従業員の適正な人事管理、投票所運営を行うことで、円滑なボートレース事業運営を行います。	発券業務事故件数	従業員数の削減及びそれに伴う業務範囲の見直しを適正に行うことにより、発券業務でのトラブルを防止し、お客様の満足度を維持することを目的とし、窓口での深刻な発券トラブル件数を指標とします。	0件	0件	従業員数の減少に応じた業務の見直しによる発券業務事故の抑止	従業員の削減目標を達成できており、併せて業務内容の見直しを行い適性な窓口数の確保ができました。	4	従業員の削減目標を達成するとともに、併せて業務内容の見直しを行い適性な窓口数の確保ができました。	廃止	従業員制度の廃止にともない、投票業務の業務委託への切り替えを行っていきます。
事業推進課	臨時職員関係事業	場内の秩序維持やファンサービスの向上を図るため、臨時職員の適正な人事管理を行います。	場内の苦情件数	ファンの満足度アップと場内秩序の維持のための適切な人員の確保を行い、場内の運営上のトラブルを未然に防止することで、お客様の満足度を維持することを目的とし、場内での苦情件数を指標とします。	0件	0件	充実したサービスの提供と適正な人員配置	適正な人事管理によりファンが安心してレースを楽しめる環境づくりができました。	4	場内警備や投票業務、入場業務など適正な人員配置を行い、場内の秩序維持をはじめ円滑なボートレース事業運営を行うことができました。	現状維持	引き続き、円滑かつ効率的なボートレース事業運営のために、臨時職員の適正な人事管理に努めます。

ボートレース事業部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
事業推進課	広報、宣伝事業	新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどの各種媒体を活用した広報宣伝を展開することにより、ボートレースファンへのレース情報の提供及びボートレースのイメージアップにより、売上向上を図ります。また、ファンサービス関係、印刷業務関係事業を広報、宣伝事業に統合し効果的に事業を実施します。	効率良く効果的な広報宣伝及びファンサービスの実施	競艇ファン及び新規顧客獲得のために広く広報宣伝を実施し、イベント等ファンサービスと連動させ効率良く効果的に事業を展開することを成果指標とします。			費用対効果を検証した広報宣伝活動の実施。ファンに喜ばれるイベント等の実施及びPR。	レースのグレードにより広報費用が増減するため指標を数値で表記できないが、ポイントを定めた広報宣伝を効果的に行うことができました。また、プレミアムG I レディースチャンピオンやG I 東海地区選などグレードレース開催時に効果的なPRを実施することで売上が向上しました。	4	新聞、雑誌、TV等既存メディアへの広告とともに、プレミアムG I レディースチャンピオン及びG I 東海地区選手権のホームページ特設サイトを設置し、電話・インターネット投票利用者の利便性向上が図れました。	現状維持	売上形態別に効果的な広報宣伝活動を行い、イベント等ファンサービスと連動させ売上向上を目指します。また、ファンバスの運行や各種イベント等を開催し来場者に喜ばれるファンサービスを実施します。
事業推進課	番組編成事業	ファンから注目される企画レースや、予想しやすいシード番組などの魅力ある番組編成に取り組みます。	魅力ある番組編成	購買意欲の向上につながる魅力ある番組編成を行うことを成果指標とします。			ファンから注目される企画レースや、予想しやすいシード番組などの魅力ある番組編成に努めます。	プレミアムG I レディースチャンピオン及びG I 東海地区選手権を開催し、また、一般レースでは、初心者でも購入しやすく、ボートレースファンでも魅力のある番組編成に心がけました。	4	プレミアムG I レディースチャンピオン及びG I 東海地区選手権を開催し、全国にボートレース津の注目度を高めることができました。また、一般レースでは、予想しやすいシード番組や全国のボートピア等の会場時間に合わせた発売時間を実施するなど、舟券の購買意欲を高め、売上向上が図れました。	現状維持	本場はもちろん、電話投票やボートピアなど全国のファンからの売上向上につながる魅力ある企画レースの開催や、推理しやすい（買いやすい）番組編成に努めます。
事業推進課	投票関係事業	舟券発売システム全般の運転・保守管理のほか、発売及び払戻・返還金の支払いなど、投票業務全般の安全かつ円滑な運営に努めます。	システムの事故件数	舟券投票システム全般の保守管理・整備によるシステム機器のトラブル防止、円滑な発売払戻の実施により、本場来場者への満足度向上を図るため、機器の重大な事故の件数を指標とします。	0件	0件	全国総合払戻サービスの拡充	適切な保守管理により円滑なシステム運用ができました。	4	適正な機器の保守及びシステム障害や停電などに備えた緊急対応訓練も実施することで、投票業務を円滑に行うことができました。また、プレミアムG I レディースチャンピオン等の来場者数の多いレースにおいて、買い漏れ等の発生を抑えることができました。	現状維持	適正な機器の保守管理に努めるとともに、投票システムの定期的な更新を行うことにより、投票業務の円滑な運用を目指します。また、スタンド棟内での場外発売場数を増やすことやキャッシュレス投票、在席端末などファンの動向に応じた機器の導入を検討していきます。
事業推進課	警備関係事業	競走場へ来場するファンに、安心してレースを楽しんでもらえるよう適正な警備業務を行うことで、競走場内の秩序維持に努めます。	事故、騒擾の件数	ファンが安心して楽しめる施設環境づくりに努める。競走場内の秩序維持を図るため、競走場内での業務に関する重大な事故、騒擾の件数を指標とします。	0件	0件	場内、駐車場内での紛争等が発生しないように警備体制を整えとともに、トラブルが発生しても早期の解決を目指します。	警備体制の強化により、トラブルの発生を未然に防ぐことができました。	4	警備担当と保安担当、委託業者（場内、駐車場）の的確な連携により、場内の秩序維持、車両誘導、交通渋滞の緩和に努め、円滑にレースを開催することができました。	現状維持	スタンド棟、外向発売所全体として適正な人員配置を行うとともに警備体制の充実を図り、円滑なレース開催を目指します。
事業推進課	スタンド棟管理事業	モーターボート競走事業における総合的な施設の維持管理、施設改修を行い、お客様に安全で快適な空間を提供します。	お客様に安全で快適な空間の提供	お客様に安全で快適にレース観戦ができるよう施設・設備の維持管理に努めます。これを成果指標とします。			お客様に安全で快適にレース観戦ができるよう、スタンド棟及び津インクルの施設・設備の総合的な保守及び必要な修繕などを行います。	施設の老朽化に伴い、今後も維持管理コストは必要であるが、できる限り費用を押さえた維持管理に努めました。	4	来場者が安全で快適にレースを楽しんでいただけるよう、維持管理を行うことができました。	現状維持	施設・設備の適正な維持管理を行い、来場者が安全で快適にレース観戦できる空間作りに努めます。

ボートレース事業部

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
事業推進課	競技施設管理事業	公平、公正で魅力的なレースが提供できるよう、競技に関する施設・設備の維持管理を行います。	競技施設及び設備の適正管理	競技に支障をきたす事が無いよう、競技に関する施設・設備の適正な維持管理に努めます。			競技運営に支障をきたさぬよう、施設・設備を適正に管理します。	競技遂行に妨げとならないよう競技施設及び設備を維持管理し、公平、公正なレースが提供できました。	4	公平、公正な競技運営を行う施設として、適正な維持管理を行うことができました。	現状維持	今年度に引き続き、公平・公正な競技運営ができる施設として、適正な維持管理に努めます。
事業推進課	モーター・ボート関係事業	公平、公正で魅力的なレースを提供するため、モーター、ボートの適正な維持管理に努めます。	モーター、ボートの適正な管理	競技に支障をきたす事が無いよう、モーター、ボートの適正な管理及び関係施設の維持管理に努めます。			日頃からモーター、ボートの適正な維持に努めます。	レースに対し、選手やファンから不信感を抱かれないように、整備等を行うことができました。	4	公正、公平なレース実施のため、適正なボート及びモーターの維持管理ができました。	現状維持	モーター、ボート等に関する適正な維持管理を継続して行います。